

目 次

はしがき

第 1 章 権利制限の制度設計と現代的課題 1

- 第一節 著作権を制限すべき事象への対応の要請 1
- 第二節 マラケシュ条約への準拠の後にみる日本著作権法
の問題 6
- 第三節 複雑な権利制限規定であることによる問題 7
- 第四節 著作権の制限規定の制度設計に関する議論の状況 11
- 第五節 著作権の「制限」か「例外」か 15
- 第六節 著作権の制限が必要な事象の分類に関して 16

第 2 章 著作権に関する多国間条約と権利制限 25

- 第一節 ベルヌ条約の制定と改正史 25
 - 1 ベルヌ条約原条約 28
 - 2 パリ追加規定 33
 - 3 ベルリン改正 35
 - 4 ベルヌ追加議定書 41
 - 5 ローマ改正 42
 - 6 ブラッセル改正 53
 - 7 スtockホルム改正 66
 - 8 パリ改正 85
 - 9 パリ改正条約以降の動き 87
 - 10 まとめとして 92
- 第二節 多国間条約における著作権の制限 96
 - 1 スリーステップテスト 96
 - 2 マラケシュ条約の登場 98
 - 3 マラケシュ条約以降の多国間条約による権利制限に関する
動き 104

第三節 欧州指令における著作権の制限	104
1 情報社会指令	105
2 マラケシュ条約の批准に伴う規則及び指令	107
3 デジタル単一市場指令	110
4 欧州指令とスリーステップテスト	111
第3章 各国法における著作権の制限	113
第一節 著作権の制限規定のアプローチの分類	113
第二節 各国法における権利制限規定のタイプ	117
1 個別列挙型	117
2 英国フェアディーリング型	134
3 米国フェアユース型	140
4 受け皿的規定型	159
第4章 動態的な著作権の制限規定	195
第一節 はじめに	195
第二節 個別列挙型と米国フェアユース型の問題点	196
1 個別列挙型	196
2 米国フェアユース型	198
第三節 動態的な著作権の制限規定	199
1 「動態的な著作権の制限規定」とは	199
2 権利制限が必要な事象のうち「動態的な著作権の制限規定」が適合するもの	201
3 生成AIとの関係	209
4 「動態的な著作権の制限規定」の要件	215
結びに代えて	221
索引	230